

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2学年	2単位	必修
担当教員			
◎石田和子、樺澤三奈子、宮坂道夫、倉林しのぶ、柏木夕香			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】 【氏名】 ◎石田 和子 樺澤三奈子 宮坂 道夫 倉林しのぶ 柏木 夕香	【所属】 新潟県立看護大学 同上 新潟大学大学院保健学研究科 高崎健康福祉大学保健医療学部 新潟県立新発田病院 がん看護専門看護師	【研究室】 317 318	【メールアドレス】 kazukoi@niigata-cn.ac.jp minako-k@niigata-cn.ac.jp
【本学の科目区分】 基盤看護分野				
【D P 1】 ◎ 【D P 2】 ○ 【D P 3】 ○ 【D P 4】 ○ 【D P 5】 ○ 【D P 6】				

到達目標	1 看護倫理の意思決定について説明できる。 2 倫理的感受性を精錬し倫理調整を実施できる。														
授業概要	医療倫理、看護倫理の歴史的変遷の理解に基づき、看護の立場から、また高度実践看護師の立場から、倫理的課題への意思決定支援あるいは調整者としての役割を果すことの必要性について考察する。倫理的思考に必要な知識として、倫理原則に基づいて考える原則論およびナラティヴに基づいて考える物語論などを学習する。終末期、性と生殖、限られた医療資源の配分や情報共有など、医療現場における様々な領域に存在する倫理的問題に着目し、分析、調整、意思決定支援について事例をとりあげ検討する。また、対象者の自律と看護職能の自立を組織的に活性化させる（エンパワーメントする）方法について検討を深める。														
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1-3</td> <td>授業内容 授業形態：講義 学修課題：医療倫理の変遷 医療倫理学の方法① 学修内容：・医療倫理の歴史・変化・現在 ・方法論の理解(1) 備考：宮坂</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>授業内容 授業形態：講義 討議 学修課題：医療倫理学の方法② 学修内容：・方法論の理解(2)：事例をとおして考える 備考：宮坂</td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>授業内容 授業形態：講義 討議 学修課題：看護倫理の現在 学修内容：・看護倫理に関する基準・理論 ・看護倫理の歴史、重要概念 備考：倉林</td> </tr> <tr> <td>9-10</td> <td>授業内容 授業形態：講義 討議 学修課題：看護実践の倫理① 学修内容：・看護倫理学の方法 ・事例分析 備考：樺澤</td> </tr> <tr> <td>11-12</td> <td>授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：看護実践の倫理② 学修内容：・事例分析：問題とその分析、調整、意思決定 備考：樺澤</td> </tr> <tr> <td>13-14</td> <td>授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：看護実践の倫理③ 学修内容：・専門看護師による意思決定支援 ・倫理調整の事例検討 備考：柏木</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>授業内容</td> </tr> </table>	1-3	授業内容 授業形態：講義 学修課題：医療倫理の変遷 医療倫理学の方法① 学修内容：・医療倫理の歴史・変化・現在 ・方法論の理解(1) 備考：宮坂	4-6	授業内容 授業形態：講義 討議 学修課題：医療倫理学の方法② 学修内容：・方法論の理解(2)：事例をとおして考える 備考：宮坂	7-8	授業内容 授業形態：講義 討議 学修課題：看護倫理の現在 学修内容：・看護倫理に関する基準・理論 ・看護倫理の歴史、重要概念 備考：倉林	9-10	授業内容 授業形態：講義 討議 学修課題：看護実践の倫理① 学修内容：・看護倫理学の方法 ・事例分析 備考：樺澤	11-12	授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：看護実践の倫理② 学修内容：・事例分析：問題とその分析、調整、意思決定 備考：樺澤	13-14	授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：看護実践の倫理③ 学修内容：・専門看護師による意思決定支援 ・倫理調整の事例検討 備考：柏木	15	授業内容
1-3	授業内容 授業形態：講義 学修課題：医療倫理の変遷 医療倫理学の方法① 学修内容：・医療倫理の歴史・変化・現在 ・方法論の理解(1) 備考：宮坂														
4-6	授業内容 授業形態：講義 討議 学修課題：医療倫理学の方法② 学修内容：・方法論の理解(2)：事例をとおして考える 備考：宮坂														
7-8	授業内容 授業形態：講義 討議 学修課題：看護倫理の現在 学修内容：・看護倫理に関する基準・理論 ・看護倫理の歴史、重要概念 備考：倉林														
9-10	授業内容 授業形態：講義 討議 学修課題：看護実践の倫理① 学修内容：・看護倫理学の方法 ・事例分析 備考：樺澤														
11-12	授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：看護実践の倫理② 学修内容：・事例分析：問題とその分析、調整、意思決定 備考：樺澤														
13-14	授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：看護実践の倫理③ 学修内容：・専門看護師による意思決定支援 ・倫理調整の事例検討 備考：柏木														
15	授業内容														

	<p>授業形態：討議 学修課題：専門職の倫理 学修内容：・専門職に求められる倫理 ・看護職の使命とエンパワメント 備考：石田</p>
事前・事後学習	事前学習：適宜指示する。 事後学習：適宜指示する。
評価方法、評価基準	到達目標に対して、授業への取り組みとプレゼンテーション60%，レポート40%により評価する。
テキスト	教科書は指定しない。
参考図書・資料等	宮坂道夫（2016）：医療倫理学の方法 第3版：原則・ナラティヴ・手順、医学書院。 その他をその都度、提示・紹介する。
受講、課題、資料配布等のルール	初回の授業開講時に説明する。
教員からのメッセージ	積極的な参加を期待します。 授業に関する質問等がある場合、メールアドレスにお問い合わせください。
オフィスアワー	石田が窓口となり対応する。事前にメールで連絡すること。